

## 了心で 広島大学医学部附属病院総合診療部の紹介 〱 末三

三 高 東 野 醫學部講師

医学部附属病院 横 山 隆

総合診療部とは聞きなれない言葉で一体どんなことをやるのかと思っておられる方も多いと思いますが、この生まれてきた背景や、おおまかな流れを説明してみたいとおもいます。御存知のように近年の医学の進歩は目ざましいものがあり病気の原因や治療の面で解明が進んできました。実際に患者さんを診察する分野でもこのような進歩にともなって専門化、いいかえますと細分化が急速に進んでいます。これにともない患者さんの診察に当たって個人全体を診るよりもだんだんに臓器や組織に重点が移ってくるのは自然の流れだと思います。この流れに対して今度は逆に人間全体を診るような診療を行おうとする流れが生じてきました。この流れが総合診療（包括的医療）という概念です。いいかえますと広くかつ深い医療知識を持った医師を育てて幅広い診療を行おうとする流れです。総

合診療と言う概念は理解されると思うのですが、では実際に診療はどうするのが問題です。現在の医学教育はむしろ専門家志向であり、現在のスタッフもその流れの中で教育を受けています。その点では総合診療医という範疇には入りません。そこでいろいろの専門分野を持った医師が一つの診療部門に集まって、お互いに相談しあいながら総合診療に近い形の診療を目指しています。そのため内科、外科、小児科を中心に各科の協力のもとに運営をしています。またプライマリーケアも総合診療の大切な分野です。これに対応できるように迅速な検査機器の整備も必要で、現在ビデオ内視鏡、超音波診断装置、血液生化学的検査も直ちにできるようになっております。また救急や老人、小児のように特にプライマリーケアを必要とする分野にも伸ばしていきたいと夢をもっています。



総合診療部での診察風景



総合診療部受付の様子

2000年10月号